

第60回東北・北海道地区大学一般教育研究会報告

谷内田洋一、松島範男、森岡 伸

札幌医科大学医療人育成センター教養教育研究部門

全体テーマ「学士力はどのように保証されるか」で第60回東北・北海道地区大学一般教育研究会が平成22年9月2日、3日に札幌大学で行われた。全体会Ⅰ、全体会Ⅱ、第1分科会のテーマ「学生の自立性を育む取組」、第2分科会のテーマ「他者・異者と協力する力を育む取組」および第3分科会のテーマ「学生のリテラシーを高める取組」で合計22の各大学の取り組みが報告された。

1 東北・北海道地区大学一般教育研究会

東北・北海道地区大学一般教育研究会は大学における一般教育に関する研究を行うことを目的とする研究会である。この東北・北海道地区大学一般教育研究会は昭和26年に第1回研究会が山形大学で行われ、昭和45年に第20回研究会が札幌医科大学で行われ、平成22年9月2日、3日に第60回東北・北海道地区大学一般教育研究会が札幌大学で行われた。

2 第60回東北・北海道地区大学一般教育研究会

第60回東北・北海道地区大学一般教育研究会は全体テーマ「学士力はどのように保証されるか」で行われた。その趣旨は第59回研究会において平沢先生が提示された視点に立ち、学士課程教育のあり方を具体的に探求していくこととします。すなわち、OECD キー・コンピテンシーが学士力の主要な構成要素たり得ると考え、各コンピテンシーについて、学士により効果的に身につけさせるにはどのような取り組みがあり得るかを検討することとします。各分科会のテーマは、OECD キー・コンピテンシーの3つのカテゴリー、「自律的に行動する」、「異質な集団で交流する」、「相互作用的に道具を用いる」に合わせて設定しました。コンピテンシーは、複雑な現代社会を行く抜く力を包括的に捉える概念です。各大学が独自に進められる教育上の取り組みの多くは、何れかのコンピテンシーの獲得に効果的とみなせるものでありましょう。それらの成果をOECD キー・コンピテンシーの3つの座標軸によって構成される空間に位置づけるものでしょう。それぞれの取り組みをさらに充実・発展させる糸口が見い出され、取り組みと取り組みの間の有機的な結合

の有無を問い直す契機が生まれることを期待します。

第59回研究会¹⁾において基調講演にお招きした平沢安正先生(大阪大学大学院人間科学研究科教授)は、ヨーロッパで広がりを見せる市民性教育が人権と民主主義の基本的な価値観をベースにしていること、今日的人権の概念には、自尊感情や自己実現、他者との豊かな関係性、社会参加、自然との関係性が含まれることを指摘されました。その上で、それらをめぐる検討を踏まえて提起されたOECD「キー・コンピテンシー」は、学士課程教育の達成度を国際標準で測る一つの目安になり得るとの認識を示されていた。

3 全体会Ⅰ

全体会Ⅰ 基調講演「学士力保証と共通教育」～地方都市にある中規模私立大学の改革の取り組み～ 札幌大学 学長 宮腰昭男が報告された。札幌大学は一地方都市に過ぎない札幌に立地し、入学・収容定員減によって中規模から小規模大学へ移行しつつあります。(1) 北海道の高等教育への進学状況、(2) 建学の精神について、(3) 共通教育について、(4) 外国語教育について、(5) 教育のグローバル化、(6) 高等教育政策について、(7) おわりにが報告された。

第1分科会

第1分科会のテーマは「学生の自立性を育む取組」であり、その趣旨は学生の「自律的に行動する(acting autonomously)」力を育む方法を考えます。直面する社会経済的な格差、あるいは文化的多様性のなかで、他者と適切な関係を保ちながら自分だけの人生をデザインし、計画を実行していくには、周囲とは一定の調和を保ちながら、自律的に活動する力が不可欠です。正課、課外を問わず、学生生活において学生が自立性

を發揮できる場面をいかに多様に用意していくか、各大学の取り組み話題提供1～7が報告された。話題提供1～7の詳細を表1に示した。

第2分科会

第2分科会のテーマは「他者・異者と協力する力を育む取組」であり、その趣旨は学生の「異質な集団で交流する (functioning in socially heterogeneous groups)」力を育む方法を考えます。人間の活動の急速なグローバル化は、インターネットをはじめとするコミュニケーション技術の発展により、個人の内面にまで及ぼうとしています。文化や境遇、目標や価値観の異なる相手と向き合い、内実を伴ったやり取りを行う能力を涵養することは、現代を生きるわれわれ全員が直面する課題です。昨今は、ゼミの中でも安定した人間関係を結べない学生が増えているといわれています。自分と異なる存在を尊重し、対話によって相手の理解を得る姿勢をどのように身につけさせるか、各大学の取り組みが紹介された。話題提供1「地域医療支援を目指した多職種連携学部一貫教育」札幌医科大学

苗代康可が報告された。この取り組みは文科省教育GP (GP:Good Practice) の支援を受けた取り組みの1つである「地域医療合同セミナー」であった。地域医療合同セミナーでは医学部 (医学科)、保健医療学部 (看護学科、理学療法学科、作業療法学科) の両学部合同で行われていた。この実習を通じて所属学科の異なる学生が互いの専門性を理解し、尊重するという基本的態度を身に付けると共に、地域医療・チーム医療への理解、意欲の向上に繋がっていることが報告された。また学外の地域スタッフ・住民と多くの時間を過ごす中で学生は真摯に学ぶ態度を育み、多様な考えに接することが出来、コミュニケーションの技術の習得に役立つことが報告された。その他話題提供2～7が報告された。話題提供1～7の詳細を表1に示した。

第3分科会

第3分科会のテーマは「学生のリテラシーを高める取組」であり、その趣旨は学生の「相互作用的に道具を用いる (using tools interactively)」力を育む方法を考えます。第2分科会のテーマとも関係しますが、他者との間に対話、討論、相互の学び合いなどを行うには、言語や情報技術はもちろん、歴史的、文化的、社会的な概念やテキスト、さらにイメージを共有し、それらを相互のやり取りの場で有効に活用する能力が求められます。現代人に求められる多面的なリテラシーをどのように理解し、学生に獲得させていくか、各大学の取り組み話題提供1～6が報告された。話題提供1～6の詳細を表1に示した。

4 全体会 II

全体会 II 事例報告「関東学園大学におけるコンピテンシー教育」 関東学園大学経済学部 龍上豊が報告された。コンピテンシーとは、企業で導入された考え方で、職務の内容や仕事の役割に対して期待される成果を導く上での行動特性を指す。本学では社会が学生に期待するコンピテンシーを「社会への対応力」と定義して、それを在学中に高めることで、学業への姿勢や就職の成果につなげる効果を期待している。6つのコンピテンシーは①表現力、②人との交流/協業、③主体性/積極性、④職業観/社会への関心、⑤理論的思考力、⑥リーダーシップであることが報告された。

考 察

札幌医科大学におけるコンピテンシー教育について考察する。第1分科会 話題提供1 山形大学における到達目標を明確にした自己実現システム 山形大学 中島勇喜・松田岳士・蜂谷大八 の報告にカリキュラム・ポリシーの確立があり、カテゴリごとに習得する知識や能力を整理する。全科目を達成目標に応じて体系化し、各カテゴリの中に位置づける。これにより何のためにその科目を履修するのか、そのカテゴリの目標を達成するとどのような知識や能力を習得することができるのかを明らかにする。札幌医科大学においてもカリキュラム・ポリシーの確立が重要であると思われる。教育ディレクターの配置により修学指導を行う。またeポートフォリオシステムの開発し、上記指導および学生生活相談に活用していることが報告された。札幌医科大学においてもアドバイザー制度 (医学部)、オフィスアワー制度 (保健医療学部) を行い同様指導を行っていた。eポートフォリオシステムを導入するとより効果的になると思われた。

話題提供4 学生参画型FD活動について一学生FD委員会による主体的取り組みー札幌大学 梶浦桂司、話題提供7 自律的な学生プロジェクト「理科工房」の活動を通じた学生教育 千歳科学技術大学 長谷川 誠らの報告では、学生自身が中心になり行うことがプロジェクトの成功につながり、学生の成長を促進させることが報告された。第2分科会 話題提供1「地域医療支援を目指した多職種連携学部一貫教育」札幌医科大学 苗代康可の報告も同様に学生自身が中心になり行っていることが成功につながり、学生の成長を促進させることが報告された。

文 献

- 1 松島範男、第59回東北・北海道地区大学一般教育研究会に参加して、札幌医科大学 医療人育成セ

ンター紀要 2010 ; 1 : 41 - 42

表1 プログラム

全体テーマ「学士力はどのように保証されるか」

総会 I

全体会 I 基調講演「学士力保証と共通教育」

～地方都市にある中規模私立大学の改革の取り組み～

第1分科会テーマ「学生の自立性を育む取組」

話題提供 1 山形大学における到達目標を明確にした自己実現システム

話題提供 2 北海道大学における自律性育成プログラム

話題提供 3 自ら成長する教養人の育成支援プログラム

話題提供 4 学生参画型 FD 活動について～学生 FD 委員会による主体的取り組み～

話題提供 5 山形大学の挑戦：学生・教員の自律性を重視する

「学生主体型授業開発共有化 FD プロジェクト」

話題提供 6 ～「選択」から「主張」へ～次世代型クリッカーへの取り組み

話題提供 7 自律的な学生プロジェクト「理工工房」の活動を通じた学生教育

第2分科会テーマ「他者・異者と協力する力を育む取組」

話題提供 1 地域医療支援を目指した多職種連携学部一貫教育

話題提供 2 岩手大学における高大連携事業の課題

話題提供 3 臨床能力を育む地域体験型学習とその支援

話題提供 4 地域の人たちと交流する現地体験宿泊型授業

話題提供 5 The elusive goal of academic internationalization

話題提供 6 東北大学・全学教育における武道教育の実践

話題提供 7 札幌大学ウレツパ・プロジェクトについて

第3分科会テーマ「学生のリテラシーを高める取組」

話題提供 1 質保証を志向したリテラシー教育システム構築の試み

話題提供 2 大学間連携による自然科学実験の実施と科学リテラシー育成の試み

話題提供 3 大教室でのリテラシー教育の可能性：

札幌学院大学「論述・作文」科目の事例

話題提供 4 学生と“デジタル社会のリテラシー”を探究する

～山形大学基盤教育科目：情報環境・学習環境デザイン論Ⅰの試み～

話題提供 5 大人数グループワーク科目は初年次生に何をもちたらすか？

～初年次教育とキャリア教育の両立を目指す試み～

話題提供 6 北海道大学における初年次学生の主体的学習を支援する活動

全体会 II 1. 事例報告「関東学園大学におけるコンピテンシー教育」